



未来教室サティフィケート
— 学生が考えた自由を生き抜く実践知プログラム —

受講の手引き

目 次

1. 「未来教室サティフィケート」とは	P 2
2. 対象および取得要件について	P 3
3. 学びと体験レポート（略称 ELP : Experiential Learning Paper）について	P 3
4. プログラム紹介	P 4
5. サティフィケート申請について	P 5
6. 問い合わせ	P 6
7. ELP 要旨（参考）	P 7

1. 「未来教室サティフィケート」とは

「サティフィケートプログラム」は学術・学際的な領域テーマを設定し、複雑化・高度化する社会課題を解決するために「学び」の幅を広げることを目的にしています。所属する学部の学びだけでは修得することが出来ない、法政大学が持っている様々な学問領域を包含することで構成されているプログラムであり、実践知を育むことにも寄与するものです。既存の3つのサティフィケートプログラム（SDGs・アーバンデザイン・ダイバーシティ）は上述のような考えのもと、時代に最適な諸課題を深く掘り下げることで学びの幅を広げ、総合大学としての学びの場を提供しています。

今回の「未来教室サティフィケートプログラム」は、上記の3プログラムとは異なるアプローチで設計されました。具体的には、「学生が考える新たな教育プログラム開設のための学生サポーター制度」によって、学生自身が考えたものです。これは大学での学びがどのような形で社会と繋がるのかを主眼に置いたプログラム設計になっており、そのテーマは健康・防災などの生活全般に関わる身近なものから、世界各地で頻発する紛争に至るまで、多岐にわたっています。

発足年次である2023年度においては、特に学生サポーターの関心が高かった「ライフステージ」と「安全と健康」の2領域をメイン領域として位置づけ、更に「ライフステージ」には「キャリア」と「ファイナンス」、「安全と健康」には「健康・ジェンダー」と「防災・コミュニティ」を、それぞれサブ領域（科目群）として設定しています。

このように本プログラムは、所属学部の専門領域の学びと社会課題を結びつけて解決の糸口を探るアナロジー思考の涵養を目的に設計されているため、「学びと社会の繋がり」を探求すべく、科目授業外での体験にもとづいて、そこで得られた気づきを振り返る課題レポートの作成を行うことが特徴になっています。なお本プログラムでは、現代社会における身近な諸課題をプログラムテーマとするため、メイン領域やサブ領域（科目群）の追加や見直しも時代に合わせて行ってゆきます。

2. 対象および取得要件について

(1) 対象

法政大学全学部生

(2) 取得要件

以下の①と②の要件を全て満たすこと。

①「ライフステージ」領域・「安全と健康」領域の中から、自身が興味のある分野を含め、合計 12 単位以上を修得すること。

但し、ライフステージ領域・安全と健康領域から 2 単位以上は必須とする。

②法政大学が実施(主催・共催)する講座等に参加し、そのなかでの体験や気づき、考察を「学びと体験レポート(略称; ELP 字数は 1200~2000 字とする)」としてまとめ、提出すること(英文も可。英文の場合、600~1000 語とする)。

(3) 注意事項

修得単位は、2023 年度修得単位から有効である。一度修得した単位は、卒業まで有効である。また、ELP 参加対象講座の参加年度は 2023 年度以降を対象とする(注)。

但し、年度ごとに科目の変更があり得るため、毎年度科目一覧を確認すること。

注: 2023 年度(開講初年度)内の申請特例措置として、「取得単位の 1 科目(2 単位)か、あるいは ELP 参加対象講座の参加のいずれかが、2023 年度であれば、2022 年度以前に取得・参加であって取得要件を充足したこととする。

3. 学びと体験レポート(略称 ELP: Experiential Learning Paper)について

・学びと体験レポート(ELP)趣旨・作成要領

※ELP の趣旨・作成要領の解説動画を公開しています。作成前に必ず視聴してください。

https://www.hosei.ac.jp/kyoiku/tayosei/sogo/certificate_program/

本プログラムでは、大学での学びと社会における課題とのかかわりを認識し、自らが社会において果たす役割について理解を深めるために、取得条件として「学びと体験レポート(略称: ELP)」の提出を求めている。レポートでは大学が実施する講座等に参加した体験を記述するとともに、体験を通して得られた気づきや学びの意欲について論述する。なお、作成にあたっての要点は以下のとおり。

➤ 設定テーマ

参加した講座等とサティフィケートの領域や科目とを関連づける「テーマ」を自ら設定し、説明する。レポートの対象とする講座等は複数でもよいが、その場合もテーマは一つにまとめること。

➤ 参加した講座等の説明

講座等の内容について説明する。

➤ 得られた知見や成果

学んだ内容、得られた気づき、気づきと社会課題とのかかわり、得られた学びの意欲、について述べる。

➤ 今後に向けての展望

気づきや学びの意欲を今後どのように生かすかについて述べる。

➤ 参考資料・添付資料

ELP の作成にあたって参照・使用した資料のリストを、本文の最後に記載する。また、

説明・論述に必要な補足資料がある場合は、添付する。

・ ELP 対象講座

法政大学が主催・共催している全ての講座を対象とする。所属学部授業における「フィールドワーク」などへの参加や、教職課程教員免許状取得要件である「介護等体験実習」などの他、正課外活動への参加も対象とする。

※正課・正課外活動の紹介は下記の大学ウェブサイトからも確認できます。「学びと体験」を繋ぎ、興味・関心のあるテーマの講座を見つけてみてください。

- 大学ウェブサイト「集まれ！法大生！～学生向けのイベント情報～」

<https://www.hosei.ac.jp/student-event/>

注：法政大学が主催・共催していない講座等は安全配慮上の観点からも対象外とする。

・ 提出方法・期限

大学ウェブサイトにある下記の提出専用フォーム（Google フォーム）から提出すること。なお、レポートの体裁はP 7記載の「学びと体験レポート（ELP：Experiential Learning Paper）」を参照の上、ワードファイルとして提出すること。

- ELP 提出専用フォーム（含む ELP ダウンロード）掲載ウェブサイト

https://www.hosei.ac.jp/kyoiku/tayosei/sogo/certificate_program/

- 提出期間

サティフィケート申請期間に合わせ、年 2 回の提出期間がある。

①9 月 1 日～9 月 15 日

②2 月 1 日～2 月 15 日

注：提出後、不備等があった際は、再提出となる場合もある。

4. プログラム紹介

本プログラムは大別して 2 つの領域 A, B からなり、小領域として 4 つの科目群を置いている。各科目群における学習の方向性とサティフィケート取得のための履修要件を以下に示す。本サティフィケートを履修する学生は、自分が学びたい内容にあわせて科目を選択し、学んだことを体系の中自ら位置づけていくことが求められる。

領域 A 「ライフステージ」

この領域では、社会に貢献できる自立した主体として自己形成をおこなう上で欠かせない、キャリア形成、経済・金融に関する諸事項について理解を深める。将来の自分のあり方や生活について計画性をもって考えるとともに、人生の岐路における決断にあたって求められる知識を身につける。

A-1 「キャリア」科目群

短期的な「就活」にとどまらず、将来にわたる長期的なキャリアプランを立てるために必要な知識を身につける。現代における働き方の実態と課題について理解するとともに、働くことを通じての社会貢献・自己実現のあり方について考える。

A-2 「ファイナンス」科目群

経済的に自立した生活を営むにあたって必要な事柄について学ぶ。経済の仕組みや基本的な理論について学び、社会の動きについての関心を深めるとともに、金融や投資、消費者保護についての正確な知識を身につける。

領域 B「安全と健康」

この領域では、心身ともに健康で充実した生活を送るために必要な諸事項について学ぶとともに、安全な社会の実現にあたってどのような行動・寄与ができるかを考える。生活の質を向上させる方策について学びを深めるとともに、他者や社会とのかかわりについても考察する。

B-1「健康・ジェンダー」科目群

自立した健康的な生活を送るために必要な知識を身につけ、社会におけるジェンダーの問題についての理解を深める。心身のバランスのとれた、充実した人生のイメージをつかむとともに、他者の健康や幸福について考える。

B-2「防災・コミュニティ」科目群

自然災害や国際紛争のあり方や影響について理解し、安全をを図るためにどのように対応すべきかを学ぶ。自らと周囲の人々との協働、地域とのつながりのあり方について考え、誰もが暮らしやすい社会を実現するために必要な事柄について考える。

プログラム構成表

領域	科目群	必要単位数	
ライフステージ	キャリア	2 単位以上	12 単位以上
	ファイナンス		
安全と健康	健康・ジェンダー	2 単位以上	
	防災・コミュニティ		

※プログラム構成科目については「[未来教室サティフィケート科目構成表](#)」を確認すること。

※プログラム構成科目は「[Webシラバス](#)」からも確認出来ます。

5. サティフィケート申請について

取得要件を満たした者は、申請期間内に以下の申請フォームから申請することによって、未来教室サティフィケート（デジタル証明書・オープンバッジ）を取得することができる。

未来教室サティフィケートオープンバッジ



(1) 申請フォーム

URL : <https://forms.gle/tdmNLdf7B5kZovd57>

QR コード :



(2) 申請期間

サティフィケートの申請期間は以下のとおり年2回ある。単位修得状況等に合わせて申

請すること。※全サティフィケートプログラム共通

①10月1日～10月31日

②3月1日～4月30日 →卒業年度の場合、3月10日が申請期限。

※申請時までには取得要件を満たす必要あり。

6. 問い合わせ

本プログラムに関する質問等は、以下に問い合わせること。

法政大学総長室付教学企画室

Tel : 03-3264-9931

Email : kyogaku@hosei.ac.jp

未来教室サティフィケートプログラム

「学びと体験レポート（ELP：Experiential Learning Paper）」

以下の体裁とし、ワードファイルとして提出すること

未来教室サティフィケート
「学びと体験レポート（ELP：Experiential Learning Paper）」

提出年月日：

学部・学科：

学年：

学生証番号：

氏名：

1. 設定テーマ

- ・自分が参加した講座等と、自分が履修した「未来教室サティフィケート」の領域・科目とを関連づける「テーマ」を、自分自身で設定し、それについて説明してください。
- ・ELPの対象とする講座等は複数でもかまいませんが、テーマは一つにまとめてください。

2. 参加した講座等の説明

※複数ある場合は、それぞれについて説明してください。

- ・講座等のウェブサイト URL などの情報
- ・講座等の実施期間（日時・合計参加時間）、場所、講師や関係者など
- ・講座等の内容

3. 得られた知見や成果

- ・講座等への参加を通じて「何を知る（学ぶ）ことができたのか」「自分のなかでどのような気づきがあったのか」「得られた気づきが社会課題とどのように関連するのか」「どのような学びの意欲が生じたのか」について、論述してください。

4. 今後に向けての展望

- ・得られた気づきや意欲を、今後の自らの学習や研究、キャリア形成などのなかで、どのように生かしてゆきたいかを述べてください。

5. 参考資料・添付資料

- ・ELP の作成にあたって参照・使用した資料のリストを、ELP 本文の最後に記載してください。また上記 1～4 の説明・論述に必要な補足資料がある場合は、添付してください。

※上記 1～4 を合わせた文字数は 1200～2000 字（英文の場合 600～1000 語）とします。